



# あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2004.10 月号

秋期特別展「掘り起こされた平塚Ⅲ」

## 遺跡が語る地域の歴史

■会 期：平成16年10月2日（土）～11月7日（日）（会期中の金曜日は19時まで開館）



今回、未発表の遺跡を多く紹介した理由には、できるだけ多くの遺跡を何らかの形で、地域に還元したいと考えたからです。遺跡は地域の文化遺産です。この文化遺産を地域の人々が守り、育て、継承することが、その地域に生きている人々の役割かと考えています。そのためにも、博物館がなすべきことは、情報をできるだけ多く収集し、正確な情報を提供することだと考えています。その上で、地域の歴史を再評価・再発見できる方向性を育てることだと考えています。

写真 原口遺跡出土遺物（（財）かながわ考古学財団蔵） 今回の展示を通して、地域の歴史に愛着と誇りを感じていただき、自らの手で地域の歴史を再評価していただけたらと思います。歴史の見方も、視点を変えてみると新たな発見につながるものと思います。

### □資料借用先

（財）かながわ考古学財団、鎌倉市遺跡調査会、真田・北金目遺跡調査会  
西相文化財研究所、専修大学、◎玉川文化財研究所、東海大学校地内遺跡調査団  
（株）日本窯業史研究所、平塚市遺跡調査会（50音順・敬称略、◎写真提供）

### □学芸員による展示解説

日時：10月9日（土）・10月23日（土）・11月6日（土）の10時～11時30分  
集合：特別展示室

# 発掘調査から見た平塚の特質



写真 古代の東海道  
(東中原E遺跡第4地点)

相模川右岸の下流域に立地する平塚市には、その立地条件からくる特徴ある遺跡が展開しています。

原口遺跡では「五領ヶ台式土器」を伴う竪穴住居が9軒発見されました。この時期の遺跡を調べますと、意外に少なく、しかも住居跡の軒数も多くはありません。このことから、原口遺跡は周辺集落の拠点的な集落であることがわかります。つまり、古相模湾に面した五領ヶ台貝塚は原口遺跡の出先的な状況で形成された貝塚と理解されます。

古墳時代の真土大塚山古墳は相模川流域の最南端の砂丘列に立地し、唯一、流域で三角縁神獣鏡を出土した前期古墳として知られています。鏡は大和王権とのつながりを示すものです。なぜ、平塚の真土に造られたのでしょうか。その背景には、大和王権が東国支配を貫徹するために、海の道・陸の道の要所であった地域を支配する必要性があったからだと思います。その結果としての鏡と理解します。

古代に置かれた相模国府については、平塚市四之宮説が近年有力視されるようになりました。その背景には、交通の要であり、東国の入り口の拠点として、平塚が国府としての立地条件を備えていたことがあげられます。

このように、時代の節目節目にあって相模川流域の要として位置づけられてきた平塚の立地条件こそが、その最大の特質であると考えます。

## 寄贈品コーナー

平成16年度 平塚市指定重要文化財 新規指定

## 稲荷前A遺跡展

平成16年10月16日(土)

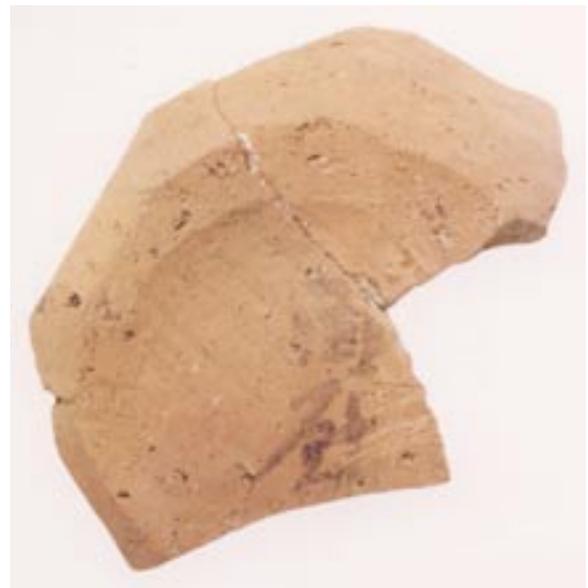
～平成16年11月14日(日)

稲荷前A遺跡は平塚市四之宮字稲荷前に東八幡二丁目・四丁目の一部を含む埋蔵文化財包蔵地として周知され、神奈川県埋蔵文化財包蔵地台帳では「集落跡」「官衙跡」「遺物散布地」とされています。

今年度、平塚市教育委員会では稲荷前A遺跡第1地点の1号竪穴住居址から出土した資料を一括して平塚市の重要文化財に指定しました。指定した資料には「国厨」と墨書された土器3点が含まれており、平塚市の古代史を語る上で欠かせないものです。

「国厨」は国府内の諸施設に対する食膳の準備、食料の調達・管理等を担当する「厨家(ちゅうけ)」を指すと思われ、これを墨書した土器は、厨家の備品であることを示したものと考えられます。このことは、出土地周辺に厨家が存在したこと、更にはそこに国府があったという根拠となり得るものと言えるのです。

展示では新指定の資料を含めて、「国厨家」の所在地として近年注目されている「稲荷前A遺跡」にスポットを当ててみました。



土師器 坏(「国厨」墨書土器) 奈良時代

なお、今回の展示は平塚市文化財特別公開の一環でもあります。市内の公開文化財についても、あわせて下記期間にご観覧下さい。

## 平塚市文化財特別公開

平成16年11月3日(水)

～11月7日(日)

問い合わせ：平塚市社会教育課 文化財保護担当  
0463(35)8124

—このページは実習生のみなさんにより作成されました—

寄贈品コーナー

博物館実習生による展示

# 「あるある漂着物」

9月16日～10月14日

今年も博物館実習の季節がやってきました。参加人数が総勢26校28名という、今までに類を見ない大人数となった今回の実習ですが、前半は例年通り考古・生物・地質・天文・民俗・歴史の各分野の担当学芸員による資料整理指導やフィールドワークを行い、当館で実施している漂着物を拾う会に参加してもらいました。以下は実習生の感想です。



実習生28名と鳳学芸員、浜口学芸員

初めて漂着物を拾う会に参加させていただいたのですが、既存の参加者の方々の熱意と知識量に圧倒され、また浜辺には思いもかけないほど多種多様なものが落ちているという事に驚きました。また、実習の最後を締めくくる寄贈品コーナーでの展示制作では4つの班に分かれ、漂着物を拾う会に参加して各々が集めた漂着物からそれぞれが感じた事を表現したのですが、同じ『漂着物』というテーマについてのはずなのに、展示の内容が環境問題だったり生態だったり様々で、人によってこれほどまでに着眼点が違うのかと感心しました。この展示制作を行うにあたり、今までただ観るだけの視点とは違う、“作る側の”視点が身に付き、また展示制作の難しさと楽しさを、授業とは違う形で学べて良かったと思っています。

今回私達が作った展示を通して、平塚の海の現状をみなさまに知っていただけたら幸いです。

## <展示紹介>

### ・海のおとしもの

川から、海から流れ着いた漂着物の出所に目を向けた展示を行っています。さらに様々な品物が置かれていますので、それらがどこからやってきたかを想像して楽しんで下さい。

### ・漂着教室

漂着物にはりついている貝のようなモノを見た事ありませんか？ここは、普段は何気なく見過ごしているそんな生物たちについて学べるコーナーです。カラフルな写真や模型などで、きっと彼らに詳しくなれる事でしょう。

### ・でっかい貝のオブジェ

環境問題をテーマとした、体験型の展示となっています。是非顔を近づけて、また手で触ってみて下さい。貝の上蓋に付いた沢山の貝殻の中から、説明パネルの中の貝を探してみるのも面白いですよ。

### ・色で見る漂着物

自然物と人工物の色の違いを、グラデーションを交えて表しています。

クイズ形式にもなっているので、色を楽しみながら是非チャレンジしてみてください。



展示の様子

# 博物館カレンダー

## 2004年10月の行事

10	1	金	古文書講読会	講堂
10	2	土	☆秋期特別展「掘り起こされた平塚Ⅲ」(～11/7) 民具に親しむ会	特展室 科学教室
10	3	日	古代遺跡を探す会 地質調査会	野 外 科学教室
10	6	水	社寺と祭を調べる会	特研究室
10	7	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
10	8	金	古文書講読会	講堂
10	9	土	☆プラネタリウム「宇宙137億年」(～12/19) ◎考古学入門講座 ◎漂着物を拾う会	プラネ室 講堂 虹ヶ浜
10	10	日	水辺の楽校生きもの調べの会 民俗探訪会「南金目神社例祭」	水辺の楽校 南金目
10	13	水	○プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	プラネ室
10	14	木	湘南コケの会 石仏を調べる会	講堂 大神
10	15	金	古文書講読	講堂
10	16	土	☆寄贈品コーナー考古(～11/14)	展示室
10	17	日	◎ろばたばなし ◎秋期特別展関連事業「地域の歴史を知る」 相模川の生い立ちを探る会	展示室 中央公民館 野 外
10	20	水	裏打ちの会	科学教室
10	21	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
10	22	金	◎古文書講読会 ◎星を見る会「月を見よう」	講堂 屋上・科学室
10	23	土	◎空襲と戦災を記録する会 ◎考古学入門講座 ◎星まつりを調べる会 ◎地質調査会 ◎天体観察会「オリオン座流星群」	特別研究室 講堂 科学教室 野 外 月光天文台
10	24	日	◎天体観察会「オリオン座流星群」	月光天文台
10	27	水	○プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	プラネ室
10	28	木	◎植物誌調査会 ◎石仏を調べる会	野 外 吉 際
10	30	土	○自然の新聞を作る会 ◎アクアマリン プラネタリウムコンサート ◎民具に親しむ会	野 外 プラネ室 科学教室

### <展示とプラネタリウム>

☆秋期特別展「掘り起こされた平塚Ⅲ」  
会期：10月2日(土)～11月7日(日)  
時間：9時～17時(ただし金曜日は19時まで開館)  
会場：平塚市博物館特別展示室

#### ☆プラネタリウム

「10月の天文現象」  
投影日：10月3日(土)14時  
観覧料：100円(中学生以下無料)  
「宇宙137億年」  
投影日：10月9日(土)～12月19日(日)までの  
土・日曜日の11時と14時  
※12月4日(土)は11時のみ  
観覧料：100円(中学生以下無料)

#### ☆寄贈品コーナー「考古資料」

会期：10月16日(土)～11月14日(日)

### <参加者募集>

◎秋期特別関連事業「地域の歴史を知る」  
日時：10月17日(日) 10時～16時30分  
場所：平塚市中央公民館 小ホール  
第一部 10時～12時15分  
遺跡発表会  
第二部 13時15分～14時45分  
記念講演会「古代の相模国(仮題)」講師鈴木靖氏(國學院大學)  
第三部 15時～16時30分  
ミニシンポジウム「神奈川県地方官衙の現状と課題」  
参加：自由・無料

## 2004年11月の行事

11	4	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
11	5	金	古文書講読会	講堂
11	6	土	◎考古学入門講座 ◎地質調査会	講堂 科学教室
11	7	日	水辺の楽校生きもの調べの会	水辺の楽校
11	10	水	○プラネタリウムで宇宙を学ぶ会 ◎社寺と祭を調べる会	プラネ室 特研究室
11	11	木	◎湘南コケの会 ◎石仏を調べる会	講堂・野 外 特研究室
11	12	金	古文書講読会	講堂
11	13	土	◎天体観察会「学習会」 ◎漂着物を拾う会	特研究室 虹ヶ浜
11	14	日	◎古代遺跡を探す会	野 外
11	17	水	★寄贈品コーナー地質(～12/12) ◎裏打ちの会	展示室 科学教室
11	18	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
11	19	金	◎古文書講読会 ◎星を見る会「月と秋の星座」	講堂 屋上・科学室
11	20	土	◎考古学入門講座 ◎星まつりを調べる会 ◎地質調査会	講堂 講堂 野 外
11	21	日	◎ろばたばなし	展示室
11	24	水	○プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	プラネ室
11	25	木	◎植物誌調査会 ◎石仏を調べる会	野 外 特研究室
11	26	金	◎古文書講読会	講堂
11	27	土	◎空襲と戦災を記録する会 ◎民具に親しむ会 ◎民俗探訪会「遊行寺一つ火」	特別研究室 科学教室 藤沢市
11	28	日	◎相模川の生い立ちを探る会	野 外

☆：展示(無料)、プラネタリウム(観覧料) ○：申込制 ◎：自由参加 無印：年間会員制

#### ◎漂着物を拾う会

海岸に流れ着いた物から、来歴を推理したり、自然環境を考えます。  
日時：10月9日(土)9時30分～11時  
場所：平塚虹ヶ浜海岸  
参加：自由(ただし、初めての方は往復はがきで申し込むこと)

#### ◎ろばたばなし

民家の囲炉裏端で昔話を聞いてみませんか。  
日時：10月17日(日)13時20分～(2)15時～  
場所：展示室民家  
参加：自由

#### ◎星を見る会

「月を見よう」  
日時：10月22日(金)19時～20時30分  
場所：博物館屋上  
参加：自由

#### ◎考古学入門講座

「地域の考古学」をテーマにした講座です。  
日程：10月9日(土) 茅ヶ崎市の考古学  
10月23日(土) 厚木市の考古学  
11月6日(土) 寒川町の考古学  
11月20日(土) 秦野市の考古学

時間：14時～15時30分

場所：博物館講堂

参加：自由・無料

#### ○自然の新聞を作る会

動植物を観察して、自然の新聞の記事を作ります。  
日時：10月30日(土)13時～16時  
場所：金目親水公園

定員：30名

申込：10月15日までに往復はがきで

#### ○アクアマリン プラネタリウムコンサート

「We are not alone」

日時：10月30日(土)19時～20時30分

場所：博物館プラネタリウム室

申込：10月1日(金)～29日(金)まで電話(33-5111)にて受付

定員：60名(乳幼児のご来場はご遠慮ください)

費用：無料

※博物館の展示はボランティアによる解説が受けられます。

あなたと博物館 30巻 7号 通算334号 発行 平塚市博物館 2500

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949

E-Mail:muse@city.hiratsuka.kanagawa.jp ホームページ <http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/museum/>